



# 第66期 事業のご報告

2025年3月16日

▶ 2026年3月15日



株式会社スーパーツール  
証券コード：5990

株主の皆様へ

# TO OUR SHAREHOLDERS



代表取締役社長

荒井 尚己

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに、2025年3月16日から2026年3月15日までの第66期の事業概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、世界的な金融引き締めの影響や海外経済の減速懸念、地政学的リスクの高まりに加え、資源価格やエネルギーコストの高止まり、為替相場の変動等により、先行き不透明な状況が続いております。このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、変化する市場環境に柔軟に対応しつつ、製品の品質及び信頼性の一層の向上に努めるとともに、生産性の向上や業務改善の推進に取り組んでまいりました。

金属製品事業におきましては、吊クランプ管理アプリケーション「S・M・A・Y・T」を中核として、ブランド力の向上と販路拡大の強化により、ソリューション型ビジネスモデルの構築に取り組んでまいりました。製品開発につきましては、生産・販売・技術部門が一体となり、市場・顧客ニーズに対応できる製品開発体制を整備し、製品ラインアップの拡充を進めてまいりました。また、生産体制につきましては、製造工程の改善、新規設備投資による生産リードタイムの短縮により製品のスムーズな供給を推進してまいりました。さらには、資材価格が高騰する中、コスト低減に向けた生産・調達体制の構築に努めてまいりました。なお、競争力強化に向けて、生産性向上に加え、生産技術の改善や新技術の開発力向上に寄与する工場拡張工事を進めております。

一方、環境関連事業におきましては、連結子会社である株式会社スーパーツールECOが手掛ける環境関連事業につきましては、当初想定していた事業収益及び関連事業でのシナジーの創出が難しい状況にあることから、既に発表している環境関連事業からの撤退方針に基づき、太陽光発電所の受注済み案件の施工等を進めております。

引き続き、グループならびに各部門間の連携強化による収益の伸長とコストダウンに努めてまいります。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は5,437百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は287百万円(前年同期比23.7%減)、経常利益は300百万円(前年同期比20.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は198百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失238百万円)となりました。

以上の業績内容を踏まえ、当期末の配当金につきましては、2026年6月11日に1株につき35円をお支払させていただきます。この結果、当期の年間配当金は、中間配当金35円と合わせ、1株当たり70円となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒格別のご理解をいただき、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月



## 金属製品事業



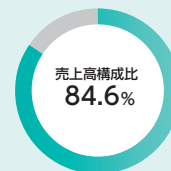
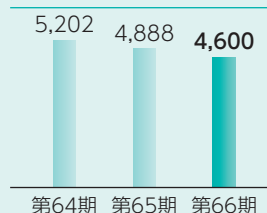
ギヤープーラ

国内市場の作業工具の分野につきましては、様々な機械のメンテナンスに適したプーラ類の販売が堅調に推移しましたが、治工具類やクレーン類の販売が伸び悩んだことに加え、ホームセンター市場向け売上も低調に推移するなど、国内販売は全体として弱含みで推移いたしました。引き続き、作業の効率化に寄与する機構を備えたレンチ類をはじめ、2025年9月に新たにリリースし販売が好調に推移しているアルミ製ポータブル門型クレーンや、2025年12月にリリースした新製品「黒の匠」シリーズとあわせ、豊富なラインアップを武器として引き続き販売強化に取り組んでまいります。また、産業機器分野におきましては、主力製品である吊クランプの管理アプリケーションである「S・M・A・Y・T」を中心としたソリューション型ビジネスの展開に継続的に取り組んでまいりました。

海外市場におきましては、当社の主要市場である韓国において不動産関連・建設業界等の内需産業の低迷の影響を受け、販売が低調に推移いたしました。なお、一部に持ち直しの動きもみられております。このような環境のもと、現地法人の強みを活かした営業活動を展開するとともに、造船市場向けに強みを持つ吊クランプ製品につきましては、ラインアップの拡充により受注が増加しており、今後の成長が期待されることから、販売強化に取り組んでまいります。また、アジア・欧州での吊クランプビジネスは堅調に推移し、米国やその他のエリアにおいても吊クランプの海外向け機種拡大のプロモーション戦略を強化し、日本製品の安全性を軸に主要取引先との関係を深めるとともに、新規市場開拓に積極的に努めてまいりました。さらには、これまで整備を進めてきた製品開発体制を基盤とした海外向け吊クランプのリリリースに向けたプロモーション戦略を推進するとともに、管理アプリケーションを活用したソリューション型ビジネスの海外展開に向けた準備を進めており、今後の展開を見据えた取り組みを強化しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は4,600百万円(前年同期比5.9%減)、セグメント利益は600百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

売上高 (単位：百万円)



### 主要製品

#### 作業工具：

レンチ、スパナ、プライヤ類・  
配管工具類・プーラ類

#### 産業機器：

治工具類・吊クランプ類・  
クレーン類・マグネット類

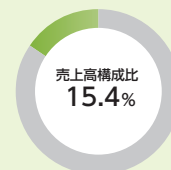
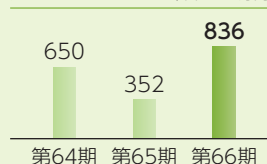


## 環境関連事業

連結子会社である株式会社スーパーツールECOにおきましては、事業撤退方針のもと、水上設置型太陽光発電所の受注済み案件の施工等を進めております。

これらの結果、当セグメントの売上高は836百万円(前年同期比137.5%増)、セグメント利益は90百万円(前年同期比63.9%増)となりました。

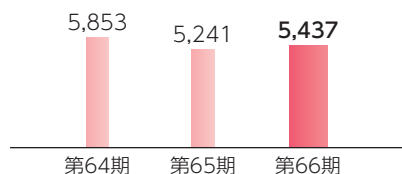
売上高 (単位：百万円)



## 業績ハイライト

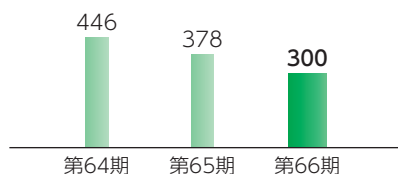
### 売上高

(単位：百万円)



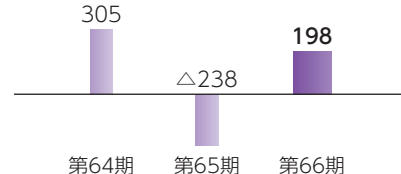
### 経常利益

(単位：百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期末 2026年3月15日現在	前期末 2025年3月15日現在
<b>資産の部</b>		
POINT 01 流動資産	5,532	5,384
POINT 02 固定資産	7,812	7,971
有形固定資産	7,144	7,314
無形固定資産	52	79
投資その他の資産	615	578
<b>資産合計</b>	<b>13,345</b>	<b>13,356</b>

POINT 01 流動資産 148百万円増加

未消費税等の減少154百万円、現金及び預金の増加104百万円、仕掛品の増加90百万円等により、148百万円増加しました。

POINT 02 固定資産 159百万円減少

建設仮勘定の増加55百万円、投資有価証券の増加55百万円、建物及び構築物の減少94百万円、機械装置及び運搬具の減少119百万円等により、159百万円減少しました。

POINT 03 負債合計 57百万円減少

前受金の増加192百万円、未払法人税等の減少33百万円、長期借入金の減少137百万円等により、57百万円減少しました。

(単位：百万円)

科目	当期末 2026年3月15日現在	前期末 2025年3月15日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,021	944
固定負債	2,001	2,135
<b>負債合計</b>	<b>3,022</b>	<b>3,079</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	7,823	7,774
資本金	2,235	2,235
資本剰余金	1,158	1,159
利益剰余金	4,437	4,404
自己株式	△ 8	△ 24
その他の包括利益累計額	2,499	2,501
その他有価証券評価差額金	214	185
土地再評価差額金	2,287	2,317
為替換算調整勘定	△ 2	△ 0
<b>純資産合計</b>	<b>10,322</b>	<b>10,276</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,345</b>	<b>13,356</b>

	第65期	第66期
自己資本比率	76.9%	77.3%
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△101円39銭	84円05銭

配当金推移

1株当たり配当金推移(円)

	第63期	第64期	第65期	第66期
年間	70	70	70	70
中間	35	35	35	35
期末	35	35	35	35



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2025年3月16日から 2026年3月15日まで	2024年3月16日から 2025年3月15日まで
<b>POINT 04</b> 売上高	5,437	5,241
売上原価	3,902	3,578
売上総利益	1,535	1,662
販売費及び一般管理費	1,247	1,285
営業利益	287	377
営業外収益	24	23
営業外費用	11	22
<b>POINT 05</b> 経常利益	300	378
特別利益	38	—
特別損失	40	490
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	298	△111
法人税、住民税及び事業税	96	138
法人税等調整額	3	△11
法人税等合計	100	126
当期純利益又は当期純損失(△)	198	△238
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	198	△238

### POINT 04 売上高

前期に比べ196百万円増加しました。セグメント別では金属製品事業は288百万円減少、環境関連事業では484百万円増加しました。

### POINT 05 経常利益

効率的な事業活動に取り組みましたが、原材料価格や燃料価格等の上昇等により、前期に比べ78百万円減少しました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2025年3月16日から 2026年3月15日まで	2024年3月16日から 2025年3月15日まで
<b>POINT 06</b> 営業活動による キャッシュ・フロー	522	132
<b>POINT 07</b> 投資活動による キャッシュ・フロー	△92	△1,354
<b>POINT 08</b> 財務活動による キャッシュ・フロー	△325	582
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	104	△639
現金及び現金同等物の 期首残高	1,017	1,657
現金及び現金同等物の 期末残高	1,122	1,017

### POINT 06 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動においては、棚卸資産の増加165百万円により資金の減少がありましたが、税金等調整前当期純利益298百万円、減価償却費282百万円、前受金192百万円等により、522百万円資金が増加となりました。

### POINT 07 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出84百万円、投資有価証券の取得による支出8百万円等により、92百万円資金が減少となりました。

### POINT 08 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動においては、配当金の支払額165百万円、長期借入金返済による支出160百万円等により、325百万円資金が減少となりました。

## TOPICS 01

### 新シリーズ「黒の匠」の販売開始!

好評販売中のチューブカッターに、使用感そのままに、高級感のある色の黒を基調としたデザイン「黒の匠」シリーズを替刃付きで商品パッケージも装いを新たにリリースしました。

ウォーターポンププライヤ（フルオートタイプ）についても同様に「黒の匠」として販売中です。



## TOPICS 02

### H型鋼・I型鋼に簡単固定! ビームクランプに待望の新シリーズが登場!

ビーム（H型鋼・I型鋼）に固定し、チェンブロック・ホイストを取り付け吊り下げて使用するビームクランプに新たなシリーズ「SBC-S」を販売いたしました。

H型鋼の柱等に取り付けて、レバーホイストや滑車の引っ張り作業等に最適です。

着脱はハンドルを廻すだけで簡単に取り外しすることができ、ねじ受け側面の六角穴付きねじを締めることで、スクリューの緩みを防止することができます。

ビームとの連結金具として、工場や建築等あらゆる現場向きの製品となっております。





## 会社の概況 (2026年3月15日現在)

設立	1960年12月10日
資本金	2,235百万円
本社・工場	大阪府堺市中区見野山158番地
支店	大阪支店(堺市中区) 東京支店(東京都品川区) 名古屋支店(名古屋市中区)
営業所	札幌営業所(札幌市白石区) 仙台営業所(仙台市若林区) 北関東営業所(さいたま市見沼区) 広島営業所(広島市西区) 福岡営業所(福岡市博多区)
物流拠点	物流倉庫(堺市南区) 東部物流センター(さいたま市見沼区)
子会社	株式会社スーパーツールECO(本社:堺市中区) SUPER TOOL KOREA CO., LTD.(韓国ソウル市)

## 役員 (2026年6月10日現在)

代表取締役社長	平野 量夫
取締役	楠 東一郎
社外取締役	赫 高規
社外取締役委員	田中 豪
社外取締役委員	深堀 知子
社外取締役委員	大坪 洋一



## 株式の状況 (2026年3月15日現在)

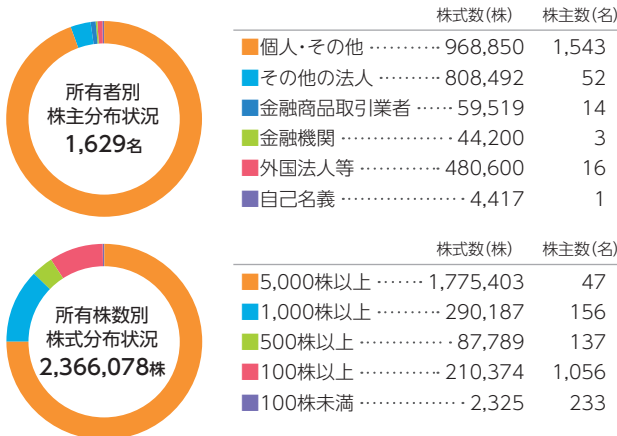
発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式総数	2,366,078株 (自己株式数4,417株を含む)
1単元の株式の数	100株
株主数	1,629名

## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION A/C CLIENTS	422	17.88
ホライズン株式会社	407	17.26
トラスコ中山株式会社	223	9.47
平野 量夫	52	2.21
株式会社SBI証券	51	2.16
竈 利英	45	1.91
株式会社池田泉州銀行	34	1.44
株式会社スノーボールキャピタル	30	1.29
DAIWA CM SINGAPORE LTD	28	1.19
西村 香奈枝	27	1.17

※持株比率は自己株式(4,417株)を控除して算出しております。

## 株主・株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月15日
中間配当金 受領株主確定日	9月15日
定時株主総会	毎年6月（事業年度末日の翌日から3ヵ月以内）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.supertool.co.jp/">https://www.supertool.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
単元株式数	100株

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



## 株式会社スーパーツール

〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地  
TEL (072) 236-5521(代表)

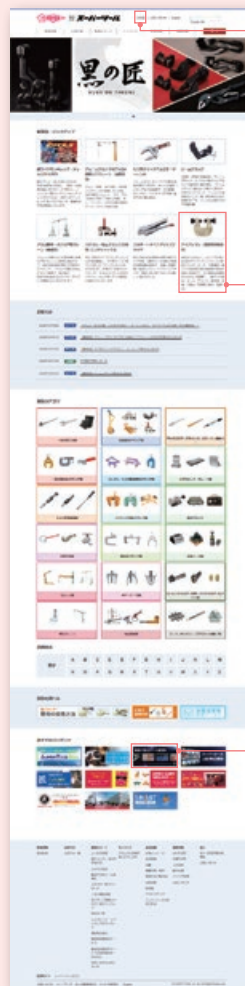
ホームページ  
のご案内

<https://www.supertool.co.jp/>

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報、製品情報などさまざまな情報をご提供しています。

スーパーツール

検索



IR情報



製品情報



カテゴリーや目的別に詳しい製品情報を見ることができます。またピックアップ製品としてスーパーツールがおすすめする新製品等をご紹介します。

動画で見るツール使用法



チラシ等のPDFや使用例の動画をご用意しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。